

## 日本ロレンス協会 第49回大会報告——2018年6月30日, 7月1日

東北学院大学土樋キャンパスのホーイ記念館で2日にわたって開催され、研究発表、シンポジウム、ワークショップと充実の内容で、刺激的な大会となりました。



初日は研究発表で幕を開けました。中篇「大尉の人形」をめぐる発表です。



初日の後半はシンポジウム「ロレンスに触れる——象徴、劇場、写真」です。4人の講師による比較文学的視点も交えた刺激的な議論を聴くことができました。



大会2日目はワークショップ「オックスフォード英文学と冷戦期の／ポスト帝国日本の「英文学」——F・R・リーヴィスの退場を規定した歴史的可能性の条件とは」でした。ロレンス批評を歴史化し、ロレンスを論じることの意味にまで及ぶ射程の長いワークショップになりました。



